

学校法人小寺学園  
令和6年度 学びシュラン® (事業計画企画書)

報告書作成日 2024年4月1日

基礎情報内容	実施園情報
法人名	学校法人小寺学園
理事長名	秦賢志
園名	幼保連携型認定こども園 はまようちえん
園長名	小寺由起
担当者名	役職名: 教頭 氏名: 樋口詩菜
住所	〒661-0967 兵庫県尼崎市浜2-2-13
電話番号	06-6499-4919
FAX 番号	06-6499-4931
メールアドレス	infoa@hama.ed.jp
園児数	179人
学級数と人数	7学級 149人 ナーサリー 30人
教職員数	58人

学園理念	わたしになる。ぼくになる。 つよく。かしく。うつくしく。おもしろく。
本園の教育目標	たくましく生活できる子ども・みんなと仲良く遊べる子ども・心豊かな創造性を育てる
今年度重点目標	①チームのディスコミュニケーション問題の改善
	②三人行事の位置づけや教育価値の見直し
	③あそびミーティング・記録のアップデート
	④キンダーカウンセラー制度を生かした特別支援教育の充実

今年度の重点目標	① チームのディスコミュニケーション問題の改善
テーマ	はまようチームメンバー、一人ひとりの Well-being を高める

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標

トップリーダーを含むメンバー同士が、これまで以上に風通しのよいコミュニケーションと対話を通して、チームの心理的安全性を高める。

企画意図 CONCEPT コンセプト

**【背景】**

昨年度ミドルクラス保育者を含む8名の退職者があり、令和6年度は保育スタッフ6名、事務スタッフ3名の過去最多の新規採用者となる。それを受けて、7かぞく中4かぞくが新人担任となるようちえん部門、6年ぶりにようちえん部門からリーダーを異動するナーサリ部門と、大きな編成転換がある今年度を「第2形成期」と捉え、コロナ禍以降4年間ほとんどチームで指揮をとれなかった理事長も戻り、新たなチームづくりが始まる年となる。

はまようかぞく全体が大きなONEチームとして、ビギナー中心のようちえん部門、利用園児数の増加により保育の見直しに迫られている預かり保育部門を、ベテラン中心のナーサリ部門が支えることができるよう、シフト会議でシフトや業務の連携について調整するだけでなく、メンバーの心持ちについても目を向け、部門を超えた連携を強化したい。

また、昨年度退職者も多くその原因の一つがトップの言動によるものであると感じているメンバーがおり、今年度多くの新人が加入することを機に、メンバーから直接課題としてトップに届けたいと考え、昨年度末(3月25日)に対話会を開いた。このことをきっかけとしてトップとメンバーがお互いのコミュニケーションについて考える対話会を継続して実施する。

**【コンセプト】**

チームのために自分ができることについて、本気で語り合おう！

実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか

**<新規>部門間連携ミーティング**

【プロジェクトリーダー】 樋口詩菜、大野

【プロジェクトメンバー】 山本裕子、岡、二木、樋口知華

【いつ】 月に1回

【内容】 部門間の連携を強化するため、シフト会議で計画した業務を遂行していくなかでのメンバーの心持ちについて話し合う。

**トップリーダーとメンバーの対話会**

【プロジェクトリーダー】 二木、大野

【いつ】 学期に1回程度

【内容】 トップリーダーとメンバーがお互いにフィードバックし合う対話会を行う。

今年度の重点目標	② 三大大行事の位置づけや教育価値の見直し
テーマ	一人ひとりの強み(好き)を生かす行事のあり方の実現

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標

既存の行事の概念にとらわれず、幼児期の子どもにふさわしい行事のあり方について検討しアップデートする。

企画意図 CONCEPT コンセプト

**【背景】**  
 認定こども園に移行して10年が経ち、異年齢保育や0・1・2歳児保育についての経験が積み重なってきたところへ、今年度新しい保育スタッフを6名迎え入れた。これまではまようちえんで当たり前になっている保育のあり方を見直す絶好の機会であると考え。ビギナーとベテラン、トップがそれぞれ異なる視点で行事の在り方を検討し、幼児期の子どもにふさわしい行事の実現を目指す。

**【コンセプト】**  
 子ども一人ひとりの強み(好き)を生かす行事を目指して、『Why?Update』し続けよう！

実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか

**<新規>年間保育テーマの策定**  
**【プロジェクトリーダー】** 樋口詩菜、岡、二木、長谷川、荒嘉  
**【内容】** 年間を通した園のテーマを立て、今年度の子ども一人ひとりの強みを生かす保育のあり方につなげる。

**三大大行事の見直し**  
**【メンバー】** ようちえんかぞく担任  
**【内容】** 各行事について企画書(Planning Sketch)をもとに、理事長・園長にプレゼンテーションし、行事のアップデートを行う。

今年度の重点目標	③ あそびミーティング・記録のアップデート
テーマ	はまようあそび環境の再構成

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標
<p>あそびミーティング・記録のあり方についてはまようチーム全体で共有する形式へ見直すと共に、他園の環境や外部講師の視点を取り込むことで、0から6歳が共有してあそぶ園庭・園舎の環境について研究する。</p>
企画意図 CONCEPT コンセプト
<p><b>【背景】</b>                      スペシャリスト（10年目以上のノンリーダー）2名を「あそび Director」として任命。二人を中心として、これまでのあそび環境を見直す。</p> <p><b>【コンセプト】</b>                      「みんなでみんなをみている大きな家族」として、全スタッフが連携し強みを生かし合いながら、0から6歳が共有してあそぶ園庭・園舎の環境を再構成する。</p>
実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか
<p><b>Asobi_DB（あそびデータベース）の整理</b>                      【プロジェクトリーダー】 荒嘉、中山                      【メンバー】 樋口詩菜、長谷川                      【いつ】 学期に1回以上                      【内容】 部門の代表メンバーであそびリーダーミーティングを行い、部門を超えた連携を行うと共に、記録の整理を行う。</p> <p><b>他園の見学研修</b>                      【プロジェクトリーダー】 中山、樋口詩菜                      【内容】 自園のスタッフと他園のあそび環境を見学し、自園に活かす。</p> <p><b>&lt;新規&gt;</b>  <b>アルテコローレ造形遊びワークショップ</b>                      【プロジェクトリーダー】 荒嘉、樋口詩菜                      【いつ】 12/2(月)                      【内容】 アルテコローレ桐島先生が来園し、自園の環境で造形あそびのワークショップを実施。</p>

今年度の重点目標	④キンダーカウンセラー制度（私立幼稚園子育て支援カウンセラー事業）を生かした特別支援教育の充実
テーマ	一人ひとりに合わせた個別の支援（関わり）について考えを深める

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標
<p>現場の保育者が悩んでいる子どもへの関わりについて臨床心理士から具体的なアドバイスをいただき、解決への糸口を見出す。</p>
企画意図 CONCEPT コンセプト
<p><b>【背景】</b> 園の保育者だけで話し合っても子どもの理解が難しいケースや、特別なサポートが必要な子どもについて、専門的な（臨床心理士目線での）アドバイスから、その子に合った関わりや、保護者支援を深める。</p> <p><b>【コンセプト】</b> 臨床心理士の視点から、一人ひとりの子ども理解を深め、個に応じた支援（関わり）について考えを深める。</p>
実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか
<p><b>【いつ】</b> 月1回（年12回） 9:00-14:00（※前日に臨床心理士と樋口詩菜で打ち合わせを実施）</p> <p><b>【誰が】</b> 臨床心理士、小寺由起、樋口詩菜、対象児の担任</p> <p><b>【どのように】</b> 臨床心理士による、保育観察と面談を通して、園児への関わりについて具体的なアドバイスをいただく。  <b>&lt;新規&gt; 1号認定児の夏休み期間を利用して園内研修を実施する。</b></p>